



異動経歴

R3年採用 海匠保健所（健康福祉センター）



Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

保健所では複数の市町村を管轄するため、地域の包括的なケアシステムの構築や施策の運営といった、広域のかつ専門的な仕事に取り組めることが魅力です。

また、保健所だけでなく、精神保健福祉や児童福祉など様々な分野で働けることも魅力です。配属される所属によって仕事の内容が異なるため、幅広く活躍ができ、学びは多いと思います。

Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

難病相談事業を主に担当しています。難病の患者さんが安心して地域で療養生活ができるよう、講演会を実施して情報提供をしたり、電話や面接、家庭訪問を通して個別に相談業務を行っています。仕事で患者さんや家族と関わる上で、「ありがとう」、「話を聞いてくれてうれしい、助かった」といった感謝の言葉をいただいたときにやりがいを感じます。

Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

都会的な施策から地方ならではの事業まで、幅広い分野に関わることができると思ったからです。千葉県は、東京都のような近代的な都市部だけでなく、海や里山といった自然の豊かさもあります。こうした都会的な面と田舎的な面があるため、地域によって住民や環境の特徴は大きく異なります。同じ県内で同じ仕事を担当していても、三者三様な点が非常にやりがいがあると思いました。

Q4 職場の雰囲気について教えてください。

課を超えて仲が良いので、毎日楽しく仕事をしています！当保健所は職員が全体で20人前後のため、自身の担当外の仕事についても幅広く行う必要があります。そのため、仕事のことでコミュニケーションを取る機会も多く、互いを助け合おうという意識が強いため、良好な関係を築けているのだと思います。特に、コロナ第5波の際は非常に辛く苦しかったのですが、乗り越えられたのは職員同士の協力があったおかげだと思っています。

Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

1つ目は、報・連・相の徹底です。仕事で分からないことや悩んだ場面では、まずは自分で調べ、考えた上で先輩に相談をしています。報・連・相をしっかりと行うことでスムーズに仕事に取り組み、トラブルも回避できます。2つ目は、仕事の管理です。講演会等の実施、家庭訪問、事務処理など、やるべき仕事が増えることは多々あります。優先順位を決め、計画的なスケジュール作成を意識することで、効率よく仕事にあたっています。

Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

他職種との連携や関係づくりが難しいと感じました。担当する仕事にもよりますが、県の保健師は、市の保健師やケアマネージャーなど、多岐にわたる関係者と連携をする能力が求められます。また、患者さんが安心して療養生活ができるよう、関係機関と連携して支援をするためには、関係づくりが欠かせません。関係機関との会議等ではベテランの方が多いため萎縮してしまうことがあるのですが、堂々と意見を言えるようにしたいです。

Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

千葉県は、近代的な都市部がありながら自然の豊かさもあり、農業、水産業、工業、商業のいずれも全国上位の競争力を誇っています。様々な分野に携われる点が魅力です。

Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

コロナの影響でなかなか難しくなりましたが、国内旅行が大好きです！最近、仙台で美味しい牛タンを食べました。先輩や同僚へのお土産選びにいつも迷いますが、それも楽しいです。いつか、日本全国を制覇したいと思っています。また、映画鑑賞が好きなので、たまに仕事帰りに映画を見に行きます。一部の映画館では、県職員が加入できる互助団体から料金の一部が助成されるため、お得に鑑賞ができて嬉しいです。

Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

保健師としても社会人としても2年目であり、まだまだ未熟です。まずは、現在担当している難病相談業務について勉強し、地域のニーズに沿った事業展開をしていきたいです。

Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

仕事で悩むこともありますが、やりがいがあります。先輩や同僚がいつも助言をくださるので心強いです。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！

ある一日の流れをピックアップ

8:30

出勤・メールチェック

9:00

窓口及び電話での相談対応

10:00

家庭訪問

12:00

昼食

13:00

相談・訪問内容の記録作成

15:00

担当業務に関する事務処理

16:00

講演会の企画資料作成

17:15

退庁

